

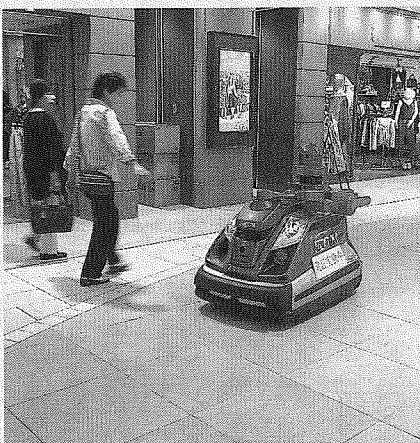
商業施設でロボット警備

RSC セコムの「X2」使い立哨、巡回

自律走行、人とぶつからず

アール・エス・シー（RSC・東京都豊島区、金井宏夫社長）は9月23日から27日まで、警備業務を手掛ける大型複合施設「サンシャインシティ」（東京都豊島区）で、警備ロボットを使った監視と巡回警備の実証実験を行った。実験にはセコム（東京都渋谷区、尾関一郎社長）が開発した「セコムロボットX2」を使い、監視と巡回警備を実施した。

【長嶺義隆】



人を避けながら巡回警備するロボット

実験はRSCとサンシャインシティ（豊島区、合場直人社長）、RSCが業務提携契約を結ぶセコムの3社共同で実施。機械と人的警備の融合により、今まで以上の安全・安心を商業施設利用者に提供することを目的としたもの。

将来、警備ロボットを導入した場合、巡回時に異変を察知するための監視・点検機能を最大限に活用した

い考えだ。警備員は巡回業務の負担が減ることで利用者への対応などに時間を割くことにより、施設の顧客満足度を上げる。

「セコムロボットX2」

はこの春開発し、現在4台が成田空港で稼働している。セコム以外の警備会社が実証実験に用いるのは初めてとなる。

ロボットは午前9時から午後10時まではサンシャイン

シティの商業施設「アルパ」で立哨警備と巡回警備

を行い、午後10時から翌午前9時までは侵入者発見などを目的とした巡回警備を行った。

巡回は自律走行で実施した。警備中の映像は施設内の防災センターにW

i-Fiを使って送信し、

遠隔監視による不審者・不

審物への警戒を実施した。

巡回警備中には装備した

火気を検知するセンサーを

査も行った。

RSCの土屋利秋常務取

締役は実験終了後に「実験で最も確認したかったのは、多くの人が行き交う中での自律走行だ。人と衝突することなく無事に終えることができた」と語った。

実験に立ち会ったセコム法人営業部の荒木隆俊本部長付担当部長は「成田空港では雑踏の中でも問題なく稼働しているが、ショッピングセンターで使用するの

は初めてだ。今回の実験結果を今後に生かしたい」と述べた。

実験は実験終了後に「実験で最も確認したかったのは、多くの人が行き交う中での自律走行だ。人と衝突することなく無事に終えることができた」と語った。

実験に立ち会ったセコム法人営業部の荒木隆俊本部長付担当部長は「成田空港では雑踏の中でも問題なく稼働しているが、ショッピングセンターで使用するの

は初めてだ。今回の実験結果を今後に生かしたい」と述べた。